

教科（科目）	芸術（音楽Ⅱ）	単位数	2	年次（系列）	3年次（選択）
使用教科書	「高校生の音楽2」教育芸術社				
副教材等	リコーダー、ミュージックノート				
履修条件 資格・進路	2年次に「音楽Ⅰ」を履修していること。				

1 学習目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

音楽を愛好する心情を育てるとともに、感受性を深め、音楽文化についての理解、表現能力、鑑賞能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	A表現		歌唱	曲想と歌詞の内容の理解と歌唱 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果 様々な表現形態による歌唱の特徴 音楽を形づくっている要素と働き	16	1年間を通じて ・授業態度 ・テスト ・レポート 等を元に評価する。
6 7 8			器楽	曲想と楽曲の背景の理解 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果 様々な表現形態による器楽の特徴 音楽を形づくっている要素と働き	18	
9 10 11 12	B鑑賞		鑑賞	声や楽器の音色の特徴と表現上の効果 音楽を形づくっている要素の理解 楽曲の文化的・歴史的背景 作曲家及び演奏者の特徴 我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴	20	
1 2 3	創作		創作	音階と旋律、副次的な旋律、和音 音素材の特徴、構成（反復、変化、対照） 音楽を形づくっている要素と働き 作曲	16	

4 課題・提出物等

--

5 評価規準と評価方法

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
評価規準	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	○平常の授業態度（出席状況を含む） ○テスト <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基礎を理解しているのか ・基礎的演奏法をマスターしているか ・音楽を感じて、美しく表現しようとしているか、表現できているか 			

6 担当者からの一言

音楽Ⅰで体験した音楽の美しさ楽しさを更に広く深く感じ、音楽する喜びが更に深められるようになってほしい。

教科（科目）	芸術（美術Ⅱ）	単位数	2	年次（系列）	3年次（選択）
使用教科書	「高校美術2」日本文教出版				
副教材等	油絵用具 他（約5,000円 - 必要な生徒のみ）				
履修条件 資格・進路	2年次に「美術Ⅰ」を履修していること				

1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊にし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

美とは何か、ということを考えることにより、自然や街の中にあふれている美の要素を感じる力を高める。また、絵画の技法にふれることにより、芸術作品に対する造詣を深める。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	オリエンテーション	教科書・作品	鑑賞	「美術Ⅱ」の学習で学ぶこと 授業を受ける時の注意、準備するもの	2	1年間を通じて ・出席状況 ・提出作品 ・授業への取り組み 等を元に評価する。
4 5 6	絵画・デザイン	アクリルによる抽象画	絵画・デザイン	抽象画 ・主題の生成 ・現代アート ・材料や用具の特性 ・抽象表現	22	
7 8	絵画・彫刻	油絵	絵画	油絵 ・主題の生成 ・表現形式の特性 ・模写 ・材料と技法	18	
9	鑑賞		鑑賞	・西洋絵画史の概略 ・文化遺産 ・国際理解に果たす美術の役割		
10 11 12	絵画・彫刻	木版画	絵画・彫刻	木版画 ・主題の生成 ・表現の構想 ・デザインの基礎 ・色彩学の基礎 ・材料（シナベニア）や用具の特性 ・多色刷り ・詩と絵	24	
1 2	鑑賞		鑑賞			
3	映像メディア表現	写真集	映像メディア表現	・映像メディアの特性 ・独創的な主題の生成 ・表現の構想	4	

4 課題・提出物等

5 評価規準と評価方法

観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	1年間を通じて ○平常の授業態度（出席状況を含む） ○提出作品 を元に評価を行う。			

6 担当者からの一言

教科（科目）	芸 術（書道Ⅱ）	単位数	2	年次（系列）	3年次（選択）
使用教科書	「書Ⅱ」教育図書				
副教材等	2年次に購入したものを使用 刻字版、半紙、条幅紙、表装代など（約4,500円）				
履修条件 資格・進路	2年次に「書道Ⅰ」を履修していること				

1 学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

書道Ⅰの内容と関連しながら新たな書体（草書・篆書）を学習し、さらに書的美しさを深く味わう。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	表現	漢字の書	漢字の書	楷書と行書の学習 ・鑑賞と臨書 ・執筆法、用筆法について	8	1年間を通じて ・作品提出 ・授業態度 ・実技試験 ・筆記試験 等を元に評価する。
5	表現	漢字の書	漢字の書	草書の学習 ・鑑賞と臨書 ・創作（十七帖）	8	
6 7 8	表現	篆刻及び刻字	篆刻・刻字	篆刻（書道Ⅰの発展学習） 刻字作品制作（ノミ使用） 文化祭発表のための作品制作	16	
9	鑑賞・表現	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じり作品の鑑賞と創作	8	
10	表現	半切条幅作品の制作	半切条幅作品	半切条幅作品の創作（卒業制作）	8	
11	鑑賞・表現	仮名古筆	仮名の書	仮名古筆の鑑賞と臨書	8	
12	表現	仮名創作	仮名の書	仮名創作（百人一首色紙）	6	
1 2 3	（実用書）	高校硬筆の練習	実用書	実用書 ・のし紙、のし袋の書き方 硬筆 ・補助教材による練習	8	

4 課題・提出物等

5 評価規準と評価方法

観点	書への関心・意欲・態度	書表現の創意と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
評価規準	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	○清書の提出（実技） ○授業態度（欠席、私語、遅刻） ○必要に応じて、実技試験、筆記（理論）試験			

6 担当者からの一言

--